

# 30年度 放課後等デイサービス事業者自己評価表 集計結果

事業所名                      もみじのてKIDS                      鶴見 店  
サービス形態 放課後等デイサービス  
平成31年3月10日集計

	チェック項目	件 数		総件数	割 合	
		はい	いいえ		はい	いいえ
環境 体制整備	利用定員が指導訓練スペースとの関係で適切であるか	8	2	10	80%	20%
	職員の配置数は適切であるか	8	2	10	80%	20%
	常時見守り等が必要な子どもに対する対応等を想定して、通常基準より多い指導員配置するの配慮がなされているか	8	1	9	89%	11%
	事業所の設備等について、利用者に応じた配慮が適切になされているか	8	1	9	89%	11%
	指導室内は個々の子どもの状態に配慮した環境調整がおこなわれているか	7	3	10	70%	30%
	事業所内の安全対策が十分に取られているか	8	1	9	89%	11%
	事業所内は常に衛生的な状態に保たれているか	9	1	10	90%	10%
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員参画しているか	8	2	10	80%	20%
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	10	100%	0%
	自己評価の結果を、事業所ホームページ等で公開しているか	9	0	9	100%	0%
	第三者による外部評価をおこない、評価結果を業務改善につなげているか	6	3	9	67%	33%
	職員の資質の向上をおこなうために、研修の機会を確保しているか	9	1	10	90%	10%
	事業所内でスーパーバイズ等を受ける体制を整えているか	4	4	8	50%	50%
適切な 支援の提供	アセスメントを適切におこない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	10	0	10	100%	0%
	子どもの状態を把握するため、また支援に対しての進捗を把握するために、統一したアセスメントツールを継続的に使用しているか	9	0	9	100%	0%
	子どもに応じたプログラムを立案できるよう、必要に応じてチームもしくは複数名の職員で検討しているか	9	0	9	100%	0%
	子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫（固定化させない、子どもが主体的に選択する機会を設ける等）しているか	8	1	9	89%	11%
	子どもの生活環境等に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	1	10	90%	10%
	子どもの状況に応じて、個別、集団による支援を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	10	0	10	100%	0%
	子どもの状況に応じて、家族支援、地域連携等の環境へのアプローチの視点を持って個別支援計画を作成しているか	5	5	10	50%	50%
	ガイドラインの総則の基本活動（自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供）を複数組み合わせた視点から、計画的に支援を行っているか	10	0	10	100%	0%
	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	10	100%	0%
	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2	9	78%	22%
	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	10	100%	0%

	チェック項目	件 数		総件数	割 合	
		はい	いいえ		はい	いいえ
関係機関や 保護者との 連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの発達障害の状況に精通した最もふさわしい者が参画できるようになっているか	7	3	10	70%	30%
	自事業所より以前から利用している教育機関等（就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等）との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	5	9	44%	56%
	子どもが利用している保育園・学校との情報共有、連絡調整を適切におこなっているか	8	2	10	80%	20%
	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所から、他の障害児通所支援事業所・障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか、またはその体制ができているか	5	5	10	50%	50%
	事業所内スタッフでの対応が難しい身体合併症等により医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等から意見を確認する等その対応方法について具体的に協議されているか	4	5	9	44%	56%
	事業所外の専門機関・専門家等と連携し、助言や研修を受けているか	7	3	10	70%	30%
	放課後児童クラブ、児童館の利用等、地域での他の子どもと活動する機会に対しての支援をおこなっているか	7	4	11	64%	36%
	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	8	2	10	80%	20%
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1	9	89%	11%
	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援をおこなっているか	6	4	10	60%	40%
	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関して情報提供等をおこなっているか	4	6	10	40%	60%
保護者への 説明責任等	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか	10	0	10	100%	0%
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	9	100%	0%
	保護者からの相談対応の状況に応じて、適切な他機関・他サービスにリファーする、もしくは情報提供等を行っている	9	1	10	90%	10%
	父母向けの座談会・保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	4	10	60%	40%
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	10	100%	0%
	定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	10	100%	0%
	個人情報に十分注意しているか	10	1	11	91%	9%
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための合理的配慮をしているか	8	1	9	89%	11%
	サービス提供中の子どもの様子を保護者が把握できるよう努めているか	9	1	10	90%	10%
	地域住民、地域の関係機関に協力いただいて事業所の行事を行う、など地域に開かれた事業運営を図っているか	3	5	8	38%	63%
非常時等の 対応	リスク管理マニュアル、衛生管理マニュアル、災害時の対応方法等について策定し、職員や保護者に周知しているか	9	1	10	90%	10%
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	3	10	70%	30%
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1	10	90%	10%
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、保護者に利用契約時に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画にも記載しているか	6	3	9	67%	33%
	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	9	89%	11%
	ヒヤリハット事例について、その改善策を検討し、報告書を事業所内で保管、ヒヤリハット事例の内容について周知共有しているか	9	1	10	90%	10%